

RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No.1 8

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

[INASHORC@athena.ocn.ne.jp](mailto:INASHORC@athena.ocn.ne.jp)

2010-2011 年度 会長 山本武夫 、幹事 助田幸雄

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、  
大陸をつなぐ」

(レイ・クリンギンスミス会長)

## 例 会 記 録 2 回 分 (地区大会後の C. A.)

### ① 第 1 5 4 8 回例会

平成 2 2 年 1 1 月 1 7 日 (水)

井波文化センターエイトホール

1. 点鐘 会長
2. ソング 四つのテスト
3. ビジター紹介：斎藤勲君 (富山シティーRC)、片山道代君 (南砺 RC)
4. 月結婚記念日祝：高瀬会員 (4 日)、米道会員 (6 日：欠)、横山豊介会員 (23 日)、長谷川会員 (23 日：欠)



5. 文部科学大臣賞受賞祝：会長から、横山豊介会員へ。花束と金一封贈呈。



6. 会長の時間：今テレビで、「坂の上の雲」の再放送をしており、「龍馬伝」がもうすぐ完結です。明治維新を境にして、日本を変えないといけないと、若い血をたぎらせていた世代があったことを教えられます。先日の地区大会の中條先生の話も、勉強になりました。

私たちも、そのような意気込みを持たねばならないのですね。①横山先生、大臣賞受賞おめでとうございます。本日、北日本新聞記事を持参しました。②先日の「いい歯の日キャンペーン」や地区大会にはお忙しいところを多数の参加を有難うございました。その際「モモのところに行ってごらん」の富山型ディサービスの施設を拝見し、利用者である要介護者や、お世話する方の御苦勞を勉強してきました。関連として、2月に、職業奉仕と社会奉仕と合同で、となみ総合支援学校 (旧となみ養護学校) を訪問予定です。趣旨は、障害児教育と障害者の就労支援について知り、会員一人一人が出来ることは何かを考えてもらおう場にしたと考えています。校長先生は、喜んでお受けしますとのことでした。③南砺 RC との合同例会については、地区大会の前夜祭で高野会長と会談し、5月頃の当クラブの例会に、“大量メイキャップ” という形で参加して頂くことにします。④奄美豪雨災害義捐金の要請が来ております。次回の理事会で、どうするか決めたいと思います。【その他、時間がなく報告できなかった事項：⑤「明るい社会づくり砺波圏会議」より、年会費を納入したお礼状が来ています。⑥「マーシ園」から、文化祭に招待状が来たので、参加しました。そのお礼状が来ています。】

7. 幹事報告：①米山から、先月の寄付金情報です。一般が 1900 万、特別が 1 億 2700 万、今期合計 5 億 1300 万になったそうです。②国際基督教大学から、「ロー

タリー・センター」基地の東ヶ崎潔記念ダイアログハウスへの献金のお願いが来ています。③秋の家族旅行の特別会費、1名 13500 円となりました。引き落としさせていただきます。(以下略)。

8. 委員会報告：①親睦活動委員会：「クリスマス家族例会」当初 12 月 22 日予定でしたが、翌 23 日（天皇誕生日）に変更させていただきます。場所は三楽園で、時間は午後 6 時からの予定です。お子様や小さいお孫さんも是非お連れください。「新年祝賀会」は今のところ 1 月 5 日（水）の予定です。②雑誌広報委員会：月初めの「ロータリーの友」先読み情報です。表紙の素晴らしい写真の説明は、縦 30 p に解説してあります。縦 18 p に小矢部 RC の酒井保子会員が「私らしく SAA」という題で投稿してあります。縦 10 p には「カタカナの日本語」ということで、身近なカタカナの解説がしてあります。お読みください。縦のページばかりで、ロータリアンとしては、横の頁を紹介したいのですが、まだまだ、追いつきません。悪しからず。



9. ニコニコBOX(本日 7 名 16000 円)
- 横山豊介会員**：第 42 回日展の出品作品「禱(いのり)」が文部科学大臣賞を受賞しました。結婚祝に感謝。
- 岩崎会員**：斎藤さん、片山さんようこそ。横山先生、おめでとうございます。長いこと欠席の、お詫び。
- 河合会員**：横山先生、おめでとうございます。昨年、一昨年の今頃、病院の昼食を食べていました。元気に、感謝。
- 高瀬会員**：横山先生、おめでとうございます。11 月 5 日、東京青山の国立新美術館で作品を見てきました。結婚祝いに感謝。本日 2 時から、当文化センターで、「ブータン」の話をしませう。(高齢者学級)
- 助田幹事**：ビジターの斎藤勲様、片山道代様、ようこ

そ。11 月 16-17 日、黒四発電所を見学してきました。河合さん、秋の旅行の写真を有難うございます。

**山本会長**：先週、「いい歯の日キャンペーン」お疲れさまでした。横山先生、大臣賞受賞おめでとうございます。斎藤勲様、片山道代様、ようこそ、お寛ぎください。

**荒木 SAA**：もう 11 月、今年もあとわずか、仕事に、ロータリーに頑張っていきたいです。

10. 出席委員会報告：19 名中 14 名出席（調整後 77.78%）



### 会員卓話「大臣賞受賞」横山豊介会員

**横山豊介会員**：日展で、いままで、曲芸やサーカス、ピエロといった題材を 5 年ほど続けていたが、今年は、修道女の黒いコートをイメージした「禱(いのり)」という作品を出品したら、仲間から「あれ？」と受け止められたので、ちょっと今までの感じと違うなあと思っていました。案の定、評議員としての最高賞「文部科学大臣賞」を受けることが出来ました。日展では、一般会員は特選が最高賞で、その上が会員賞です。日展は、彫刻部門は裸を題材とした西欧系が多いのですが、この作品のような、仏像的な趣は、これからこういう方向もいいのではと暗示する意味合いもあると言われました。明後日、東京で大臣から、表彰されます。また、来年は 4 月 22 日富山会場で日展が開催されます。私はもちろん参加をして頂く立場になりますので、今から皆さんに団体観賞などのお願いをします。本日は有難うございました。

### 地区大会後の C.A. 山本武夫会長

**会長**：今年の地区大会は、初日の指導者育成セミナーに、高瀬エレクトと浅田次期幹事と助田幹事、私が出席しまし

た。2日目は、12名の会員が参加されました。簡単なメモからですが、大会の報告をまとめてみましたので、ご覧ください。参加されなかった会員の方も、あらあら大会の様子をわかって頂けると思います。本日のC.A.も余り時間ありませんので、皆さんから感想を頂けません。後で、2-3の方からコメントを頂きますので、宜しくお願いします。



基調講演は、浦和東RCの北清治財団地区コーディネーターがされました。内容は、「R財団 未来の夢計画」についてで、1冊の厚いテキストを渡され、これはいずれすべての会員に渡すが、まずは指導者に説明をすると、スライドを使いながら、話をされました。テキストかスライドか、話が順序前後バラバラで、大変わかりにくい内容でした。具体的な例が少ないために、どんな場合がこの事業に該当するのか判断がつかず、これから理解していくのが大変だなあというのが実感でした。

2日目の特別講演は、アサヒビール顧問の中條氏でしたが、大変感銘を受けた内容でした。著書も買ってきました。本の写真を見て、私の父の写真に大変よく似ていたので、思わず3冊も購入しました。話をまとめるのに、この本が大変役に立ちました。報告も後で、読んでください。

**高瀬エレクト**：第1日の菊池龍雄ガバナー補佐の「職業奉仕」の話は、大変わかりやすかったです。人間は一人で生きられない、社会で助け合って生きている、その中で人が出来ないことは助け合い、自分の出来ないことはお願いし、お互いさまで生きている、ロータリーでは、この気持ちを強く持って、職業倫理に生かす、つまり人のためになる仕事をするのが、職業奉仕の本質です。また、例会出席も、職業奉仕なのだ、違う職業の人の話を聞くことで勉強し、「四つのテスト」を唱和することも立派な職業奉仕

なのだ、話されました。

**木村会員**：昨年度の中川ガバナーから、午後からの本会議で、その前まで地区大会のあのいつも余る昼食の無駄を考えると、簡素化はいい面もあります。しかし、大会のポイント、内容がいまいちのように思われます。今までの大会は、何かロータリーとして情熱の奮い立たせる心に残るものがありました。今回は、それが少ない気がしました。なぜなら、今までは地区大会は、新聞の記事に必ずなっていました。今年は、翌日の新聞、どれにも掲載なしでした(筆者註：前日の研修会の記事は載っていました)。皮肉にも、富山のライオンズクラブのペットボトルキャップ800個で、ポリオワクチン1本が購入できるという活動の記事が載っていただけでした。

かつて、こんなことがあったのを思い出しました。斎藤清策会長のとき、やはり新湊RCがホストで地区大会をしました。時期は、5月連休直前の4月最終週でしたが、ものすごく暑い日でした。新湊中央文化会館から、近くの体育館に大会のタベで移動しました。2段重ねのお重が準備されていましたが、開宴となって、蓋を開けた途端に異臭がしました。何かの料理が傷んだのだらうと思います。本部では、あわてて、皆に絶対に口にしないようにと案内しました。さぞかし、世話をした人はどれほどか、悔しい思いをされたことと思います。後から参加者全員に、テレフオンカードが2枚送られてきました。

**小西会員**：崎山ガバナーの地元でない新湊RCで大会会場・運営をすべて賄いきったことは、深い意味があると思います。ガバナー誕生からのいきさつもあるかとは思いますが、ロータリーの友情で実現したと考えます。

特別講演の、中條さんの話は、老骨の硬骨漢というか、なかなかいい話でした。日本を支える土俵骨に対してしっかりと注文をつけておられました。現政府の外交政策の誤りや、北方領土に対する解釈もしっかり話されました。歴史を見失った民族、金権を大事にする民族、夢を持たない民族は滅びると、憂国の士として、印象に残る話をされました。

## ② 第1549回例会

平成22年11月24日(水)

井波文化センターエイトホール

1. 点鐘 会長
  2. ソング 四つのテスト
  3. 会長の時間：うっかりした失敗談を。月曜日に南砺市福野庁舎で夜の会合を終え、帰ろうとした午後8時ころ、暗がりの駐車場で、庁舎脇の側溝に落ちてしまいました。幸い擦り傷少々で済みましたが、気をつけましょね、お互いに。年とってくるとあちこち都合の悪いことが出てきます。来月、人間ドッグに行きますが、今まであまりなかったのですが、今年あたり少し心配です。父が早くに亡くなって、胃の検査は30代からずっと受けており、今まで何にもなかったので少々樂觀していましたが、腰とか膝とか他に都合悪いところが出てきています。皆さんも、健診を受けてください。本日は、浅田会員が都合悪いということで、私が時間をもらい、先週、話を割愛させていただいた「未来の夢計画」について、指導者研修セミナーの講師の北清治氏のスライドをデジカメに写してきましたので、これを元に報告をさせていただきます。
  4. 幹事報告：①高岡西 RC から、週報が、まとまって届いております。回覧します。②会員増強がままなりません。候補者に相次いで、断られました。また、頑張ります。
  5. 委員会報告：①親睦活動委員会：「クリスマス家族例会」当初12月22日予定でしたが、翌23日(天皇誕生日)に変更させてください。場所は三楽園で、時間は午後6時からの予定です。お子様や小さいお孫さんも是非お連れください。(再度の告知)②雑誌広報委員会：本日の会長の話「未来の夢計画」は、同じ北清治氏(2010-2011年度ロータリー・コーディネーター：浦和東 RC)が、「ロータリーの友」11月号の横書き p. 6-8 でも、書いておられます。ご参考までに。
  6. ニコニコBOX(本日4名 5000円、11月計21000円、年度累計320160円)
- 三角会員**：古美術展、無事終了しました。
- 河合会員**：紅葉もようやく平地でも、鮮やかになってきました。今、雪つりに追われています。
- 高瀬会員**：本日1時半から、高岡で会合あり、早退失礼します。

助田幹事：親戚の結婚式にいつてきました。

7. 出席委員会報告：19名中14名出席(調整後77.78%)

## 地区大会後の C.A.② 山本武夫会長

会長：(スライドにて説明のため、先週の報告集より内容を抜粋)

北清治氏は、「未来の夢計画」ハンドブックを指導者に配布し、これが、これから各 RC に配られ、順次、この計画を広める礎になりますと、説明されました。スライドを使い、説明されましたが、ハンドブックとスライドが一致しないために、聴講者にはどの部分の説明か、わからず、また、具体例があまりなく、難しいセミナーとなりました。しかし、帰宅して、ハンドブックを読んでもみると、その内容が見えてきました。近い将来、具体例が示されることで、もっと身近なものとなると解釈し、このセミナーの内容を、ハンドブックの序論で代用させていただきます。

ロータリー財団創設第二世紀に向けて財団のプログラムが大きく変更になりました。新しい制度は「Future Vision Plan 未来の夢計画」と呼ばれます。

本年度、2010年7月から世界531地区の内100地区(日本では6地区)が試験段階に入り、2013年7月からは世界全地区で新制度に移行します。

「未来の夢計画」には、次のような目的が掲げられています。『ロータリー財団の使命に沿って、世界の優先的ニーズに取り組み、最大の効果をもたらす』という、大変野心的な目的と言えるものです。

1. 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
2. ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
3. 世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること。
4. 意思決定権をさらに地区とクラブに移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
5. ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロー

タリーの公共イメージを高めること。

また、「未来の夢計画」では、その計画を作成するにあたって、次の「5つの優先事項」を掲げています。

1. プログラムと運営の簡素化
2. 未来の夢計画に沿ったプログラム
3. 地区あるいはクラブレベルで「自分たちの財団」と自覚すること
4. 目標達成のための十分な資金と人材の提供
5. 計画を支える効果的な方策の開発

第一の「プログラムの簡素化」とは、6つの重点分野【主として、発展途上国を対象とした人道的プログラム】を設定し、この分野に力点を置くというものです。WF(ワールドファンズ)からも資金が拠出される「グローバル補助金」は、最低3万ドルという大きな規模のプロジェクトに限定されます。分野と案件数を絞ることにより、持続的な効果のあるプロジェクトを実現しようというものです。資金的に見ても、DDF(District Designated Fund 地区財団活動資金)の50%超を、このプログラムに向けることが可能なので、財団が最も力をいれているものです。このプログラムは、複数年度にまたがる事業になり得るものです。

\*6つの重点分野：

1. 平和と紛争予防・紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率の向上
6. 経済と地域社会の発展

第二の「地区の裁量権の拡大」とは、従来は、DDFの最大20%が地区の裁量権の範囲(地区補助金として)であったものが、今後は、DDFの最大50%へと増大することになったことです。この資金は、地区の設定した口座に送金されてきますので、裁量権の拡大と共に、地区の資金管理に関する責任が増大したと言えます。

この増えた地区への資金は、クラブや地区への「新地区補助金プロジェクト」を実施することになります。これには、「計画年度」と「事業年度」があり、2年がかりのものとなります。

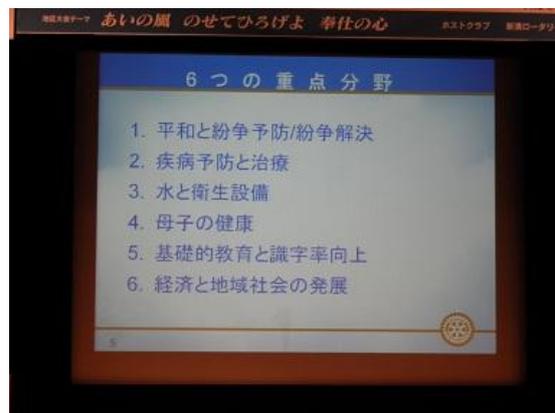
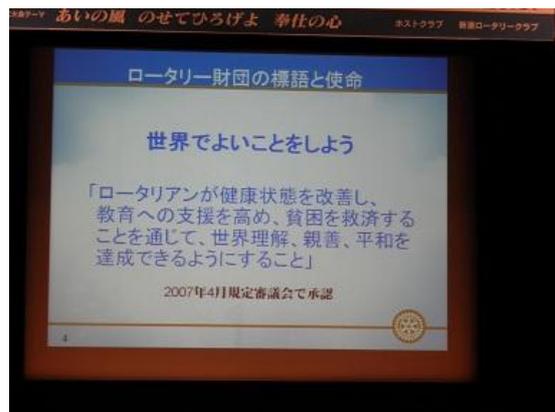
ロータリー財団の第二世紀はポリオを撲滅し、ロータリー平和フェロープログラムを充実させ、6つの重点分野で

ロータリーが実績を上げる世紀としなければなりません。日本のロータリアンにとって、6つの重点分野の事業は、人道的プログラムに係わる事業が主体ですので、これまで、国際親善奨学生やGSEなどの教育的プログラムを中心に進めてきた方向とは、馴染みの少ないものと映るかもしれません。この財団が掲げた「未来の夢計画」は、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする」というロータリー財団の使命を元に、「代表的な非政府組織や団体との協力関係(パートナーシップ)を通じて、大きな成果を生む人道的なプロジェクトを実施して、ロータリーの公共イメージを高める。」という意欲的な目標がありますので、私たちは、この高い目標に向かってチャレンジしてゆくべきだと思います。……

(以下、補助金等の申請など、省略)

最後に、「未来の夢計画」の標語(Motto)を紹介します。

【世界で良いことをしよう : Doing good in the world】



尚、「ロータリーの友」11月号に北清治氏の、ロータリー財団「未来の夢計画」とは？と題した記事が掲載されています。御参照ください。